

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	公園施設バリアフリー化改修事業				シート番号	019-065
担当部署名	建設	局	公園緑地	部	公園緑地整備	課 評価責任者(課長名) 三好

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	有
	2	事業開始年度	平成 13 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 ・都市公園法 ・堺市公園条例			
	4	関連計画	堺市緑の基本計画			
5	事業実施の経緯	堺市においては平成13年度より計画的に事業を実施してきたが、平成18年に施行された高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律によって、特定公園施設の新設時における基準への適合義務と、既存の特定公園施設に対する基準への適合の努力義務が公園管理者に課されるようになっている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (公園事務所) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	高齢者、障害者をはじめとする公園を利用するすべての方			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	公園施設のバリアフリー化を推進することにより、移動や施設利用の利便性及び安全性を向上させ、すべての利用者にとって安全で快適な公園とすることで、誰もが利用しやすい公園づくりをめざす。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・他事業にて新設で多目的トイレの設置を実施(他事業の予算で設置) ・既存のトイレを改修するにあたり必要となるアスベスト調査を実施(公園監理課でその他案件とまとめて実施) 【今後のスケジュール】 令和2年度 実施設計(さつき野公園) ※入札不調により、未実施。 令和3年度 設置工事(さつき野公園) ※令和4年度以降に見直し。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
		業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	92,195	78,907	112,396	118,968	1,005	0	5,659	
主な事業費内訳	園路等バリアフリー化整備工事	千円	73,800	70,215	103,700	109,727			
	園路等バリアフリー化設計等委託	千円	14,079	7,392	3,600	5,902	1,000	5,600	
	水道加入負担金	千円	3,709	1,171	4,880	3,094			
	印刷製本費	千円	464	65	150	148	5	26	
	国・府支出金	千円	15,000	10,000	10,000				
	財源内訳	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
市債	千円	54,600	50,100	71,700	97,300			4,800	
その他(基金繰入金)	千円			30,600	20,700				
一般財源	千円	22,595	18,807	96	968	1,005		859	
12 人件費 (b)	千円	19,680	19,680	19,680	19,680	19,440	0	19,680	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	111,875	98,587	132,076	138,648	20,445	0	25,339	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	公園施設バリアフリー化改修事業	シート番号	019-065
-------	-----------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	原池公園整備事業において多目的トイレを設置した。						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		多目的トイレの設置を含めたバリアフリー化改修を行った公園	公園	目標値	2	3	2	2
				実績値	2	3	2	
				達成率	100%	100%	100%	
	評価			良い	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		目標値: マスタープラン後期実施計画の達成目標等を踏まえ、設定 実績値: バリアフリー改修を行った公園数					
	16	公園	目標値					
			実績値					
			達成率					
評価								

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)		効率性の分析に適さないため記載なし			
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
19	他事業との連携により目標を達成することができた。

- 【分析のチェックポイント】**

 - 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	公園施設バリアフリー化改修事業	シート番号	019-065
-------	-----------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 バリアフリー化されないことにより、市民の利便性が確保できない。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 バリアフリー化されないことにより、市民の利便性が確保できない。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 公園施設のバリアフリー化を行うものであり、整備費の縮減は困難。しかし、整備の先送りにより事業を休止することで、当面の間の事業費については縮減が可能。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 屋外での作業であることから、3密を避けながらの事業実施が可能であるため。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 施設管理者として、本市が直接行うべき事業であるため。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見	本事業は、市民生活に必要な公園施設のバリアフリー化を行う事業であるため廃止することはできないが、本市の財政状況を踏まえ、一定期間の休止を行う。	